

事業進出協定

3社と結ぶ

6月6日(水)、大山町に事業進出を決めた3企業の合同調印式が鳥取県の立会いのもと、役場大山支所で行われました。

大山町と協定を結んだのは、押平地内でメガソーラー発電事業を行う「ソーラーウェイ(株) (東京都千代田区)」および所子工業団地で廃油収集拠点を設置する「喜楽鋳業(株) (滋賀県湖南市)」、



▲左から森田町長、小宮山雅弘・喜楽鋳業会長、ソーラーウェイ・足利恵吾社長、新生物流・藤原一久社長

同団地にトラック輸送拠点を設ける「新生物流サービス(広島県海田町)」の3社です。

調印後、森田増範町長は「大山町へ事業進出を決めていただき、大変喜んでい

る。企業の進出は地域の活力になり、新たな雇用が生まれる」と期待感を述べるとともに、3社の代表者たちがつちり握手を交わして、互いに進出決定を喜びました。

選手とともに、ボランテティアも熱闘!

7月15日(日)、「第32回全日本トライアスロン皆生大会」が行われ、個人の部、団体(リレー)の部など約1,000人の選手が出場しました。今年は美保湾の波が高く、スイムが中止され、ラン・バイク・ランのデュアスロンとなりました。またこの日は、最高気温36度が記録されるなど猛暑の中でのレースとなりました。

大山町は、バイク(自転車)のコースで、中山農業者トレーニングセンターに設置

されたエイドステーションでは、小学生や高校生のボランテティアが、スイカやメロンなどの果物や、飲み物を手際よく渡したり、水をかけたりして、選手のサポートに奮闘しました。時には、水のボトルを取り損ねた選手に、懸命に走って追いつき、手渡す場面もありました。

ボランテティアに参加した高校生は「1位通過の選手にボトルを受け取ってもらい、うれしかった」と話していま

▶次々と選手がエイドステーションに入ってきます



サツマイモの花が咲きました



サツマイモの花を見たことがありますか?

中山みどりの森保育園で、今年植えたサツマイモ(ベニアズマ)に花が咲きました。

ふつうサツマイモはあまり花を咲かせませんが、本州での開花は珍しいということです。

サツマイモはアサガオと同じ仲間の植物です。開花のためには、日照時間、気温や降雨、定植時期など、いくつかの条件が揃わなければ咲かないそうです。

みどりの森保育園に咲いたサツマイモの花は、アサガオよりもひとまわり小さい大きさ。同じ仲間だから花の形もよく似ているんですね。